



えきべん はじ 駅弁はいつごろから始まったの

いろいろな説がある

えきべん えき う べんとう てつどう えきべん はじ
駅弁とは、駅で売っている弁当のことで、ですから、鉄道ができてから駅弁が始まった
わけです。

めいじ ねん しんばし よこはまかん さいしよ てつどう かいぎょう こ おおさか
1872(明治5)年に、新橋 横浜間を日本で最初の鉄道が開業しました。その後、大阪
こうべかん きょうと おおさかかん かんせい にほんかくち てつどう ひ
神戸間、京都 大阪間と完成し、やがて、日本各地に鉄道が引かれるようになりました。
えきべん えき えきべん さいしよ う だ じつ
駅弁は、このころにできたのですが、どこの駅で駅弁が最初に売り出されたのかは、実は、
わからないのです。

めいじ ねん がつ にち うつのみやえき べんとう
1885(明治18)年7月16日に、宇都宮駅で、にぎりめしにたくわんをそえた弁当
う だ さいしよ がつ にち おぎのや べんとう
が売り出されたのが最初だという説があります。また、10月15日に、荻野屋という弁当
えきべん よこかわえき べんとう た う はじ さいしよ せつ
屋さん、横川駅で弁当の立ち売りを始めたというのが最初だという説もあります。

いづれにしても、1885(明治18)年に始まったのはまちがいないことのようにです。

にほんかくち えきべん 日本各地の駅弁

にほんかくち とくしょく べんとう しょうかい あさいちめいぶつかいきょうべんとう はこだてえき くし
日本各地の、特色ある弁当を紹介しましょう。朝市名物海峡弁当(函館駅)、ほたて串
や べんとう あおもりえき まいたけ あきた えき べんとう もりおかえき えちごこもく にいがた
焼き弁当(青森駅)、わっぱ舞茸(秋田駅)、わんこそば弁当(盛岡駅)、越後五目ずし(新潟
えき さけ べんとう ながおかえき ひ だ くり げろえき とやまえき
駅)、鮭そぼろ弁当(長岡駅)、飛騨の栗こわい(下呂駅)、ますのすし(富山駅)、シウ
お べんとう よこはまえき めし はまつえき ちゃ べんとう しずおかえき ぎゅうにくべんとう まつさかえき
マイ御弁当(横浜駅)、うなぎ飯(浜松駅)、茶めし弁当(静岡駅)、牛肉弁当(松阪駅)、
しょうじんべんとう きょうとえき しょうかべんとう ならえき いのしし ささやまぐちえき
精進弁当(京都駅)、松花弁当(奈良駅)、猪のぼたんめし(篠山口駅)、ピフテック
こうべえき ひろしまえき すがた こうちえき
ランチ(神戸駅)、しゃもじかきめし(広島駅)、かますの姿すし(高知駅)、ふくめし
しものせきえき べんとう はかたえき
(下関駅)、めんたい弁当(博多駅)など。(監修・青木 国夫)

